

各位

会社名 明治機械株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高橋 豊三郎
 (コード番号 6334 東証第二部)
 問合せ先 総務部長 高工 弘
 (TEL. 03-5295-3511)

特別損益、貸倒引当金及び為替差益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

この度、下記の特別損益、貸倒引当金及び為替差益の計上がありますので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年2月12日の第3四半期決算発表時に公表した平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の連結及び個別の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損益の計上の内容

(1)特別利益（個別）

①抱合せ株式消滅差益

当社は平成22年3月31日を合併期日（効力発生日）として、連結子会社内外マシーナリー株式会社を吸収合併いたしました。この合併に伴い、平成22年2月12日の前回公表時には、抱合せ株式消滅差益（被合併会社より受け入れる純資産と被合併会社株式の帳簿価額との差額）約144,029千円の計上を予想しておりましたが、実際は個別ベースで135,105千円を特別利益として計上いたします。

②受取保険金（連結）

平成22年3月期第4四半期連結会計期間において、連結子会社シンヨー株式会社は、同社の役員の逝去に伴い、受取保険金144,236千円を特別利益として計上いたします。

(2)特別損失

①保険解約損（連結）

平成22年3月期第4四半期連結会計期間において、連結子会社ラップマスターエスエフティ株式会社の追加で保険解約損8,124千円が発生いたします。これは、万一の経済的損失に備えるため経営幹部を被保険者として生命保険に加入しておりましたが、キャッシュ・フロー向上の観点から同契約の見直しを行った結果、当該生命保険を解約するためであり、これに伴う簿価と解約返戻金との差額分であります。また、平成22年3月期第3四半期連結累計期間において、連結ベースで保険解約損23,414百万円を計上しているため、平成22年3月期において、連結ベースで保険解約損31,538千円を特別損失として計上いたします。

②固定資産除却損（連結）

平成22年3月期第4四半期連結会計期間において、連結子会社2社の老朽化した固定資産の除却に伴い、連結ベースで固定資産除却損1,844千円を特別損失として計上いたします。また、平成22年3月期第3四半期連結累計期間において、連結ベースで固定資産除却損2,310千円を計上しているため、平成22年3月期において、連結ベースで固定資産除却損4,155千円を特別損失として計上いたします。

③投資有価証券評価損（連結）

連結子会社シンヨー株式会社が保有する非上場株式について、直近の財政状況から評価の検討を行った結果、平成22年3月期において減損処理に伴う投資有価証券評価損122,999千円を特別損失として計上いたします。

(連結)

(A) 平成22年3月期の投資有価証券評価損の総額	122百万円	
(B) 平成21年3月期の純資産の額 (A/B×100)	7,118百万円	(1.7%)
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	42百万円	(290.5%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	－百万円	(－%)

2. 貸倒引当金の繰入計上の内容（個別及び連結）

平成 22 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、連結子会社ラップマスターエスティ株式会社の海外顧客に対する売上債権は半導体不況の影響から回収が長期化しており、その個別売上債権について、当社及び連結子会社は、販売費及び一般管理費に当社単体ベース全体で 1,683,867 千円、連結ベース全体で 1,224,187 千円を貸倒引当金の繰入計上をいたします。

この計上は、連結子会社の回収が長期化している売上債権の一部と当社の当該連結子会社への売上債権について、保守的に勘案した結果、会計原則に従って行うものでありますが、今後回収（入金）が確定した場合には、同引当額の戻入処理を行います。

なお、平成 22 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間において、連結ベース全体で 418,618 千円を繰入計上しているため、平成 22 年 3 月期においては、当社単体ベースで 1,683,867 千円、連結ベース全体で 1,642,806 千円を繰入計上いたします。

3. 為替差益（営業外収益）の計上の内容（連結）

昨今の急激な為替相場の変動に伴い、平成 22 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、連結ベースで為替差益 1,872 千円を営業外収益として計上いたします。また、平成 22 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間において、連結ベースで為替差益 21,241 千円を計上しているため、平成 22 年 3 月期においては、連結ベースで為替差益 23,113 千円を計上いたします。

4. 業績予想数値の修正

(1)平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	19,841	△341	△519	△906	△11円8銭
今回修正予想(B)	18,425	△2,014	△2,080	△2,368	△30円68銭
増減額(B-A)	△1,416	△1,673	△1,561	△1,462	
増減率(%)	△7.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	23,127	△24	△163	△688	△9円36銭

(2)平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	5,451	△189	△119	16	20銭
今回修正予想(B)	5,523	△1,926	△1,862	△1,737	△22円50銭
増減額(B-A)	72	△1,737	△1,743	△1,753	
増減率(%)	1.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	7,724	△422	△391	△428	△5円83銭

5. 修正の理由

(1)連結

売上高につきましては、景気後退による設備投資の抑制や先送りならびに競合会社の受注競争を反映して、前回発表時の予定売上高に関しては、特に塗装工事関連事業の売上高が予想を下回る結果となるなど、減収を見込んでおります。

損益面につきましては、塗装工事関連事業での予定売上高の減少や大型プラント工事における厳しい予算の影響と採算性の低下に加え、前述の半導体製造装置関連事業における回収が長期化している海外顧客に対する売上債権につき、多額の貸倒引当金の繰入計上を行います結果、大幅な減益を予想しております。

この結果、通期は売上高 18,425 百万円、営業損失 2,014 百万円、経常損失 2,080 百万円、当期純損失 2,368 百万円を予想しております。

(2)個別

売上高につきましては、ほぼ前回予想どおりとなる見込みではありますが、損益面につきましては、厳しい予算を反映した大型飼料プラント工事や一部の工事物件での採算性の低下、ならびに前述の連結子会社の海外顧客の回収が長期化している売上債権に関して、個別ベースにおいても当社の当該連結子会社への売上債権について、多額の貸倒引当金の繰入処理が余儀なくされるなど、これらにより大幅な減益を予想しております。

この結果、通期は売上高 5,523 百万円、営業損失 1,926 百万円、経常損失 1,862 百万円、当期純損失 1,737 百万円となる見込みであります。

(注) 上記の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上